

熊谷市荒川かわまちづくりワークショップ【第2回】

○日程：令和6年8月31日（土）13:30～16:30

○会場：荒川公民館 3階ホール ○主催：熊谷市河川課

○論点：【論点1：方針】【論点2：範囲】【論点3：ゾーニング・主要機能配置】【論点4：活動の展開】

○本日のテーマ：①論点2・論点3、社会実験の検討 ②論点4の検討

③かわまちづくり計画と熊谷駅等とのつながり検討

■プログラム ファシリテーター：澤田俊明（徳島大学客員教授）、アドバイザー：田中規夫（埼玉大学教授）

時間	項目	備考
13:00～	3グループで受付	
13:30 (15分)	1 チェック・イン ・開会、挨拶 ・本日の予定 ・アイスブレイク ・ワークショップについて（目的、テーマ、ルール）	■全体進行
13:45 (20分)	2 情報共有 ・第1回ワークショップの振り返り ・かわまちづくり協議会の検討状況（論点1～4、社会実験） ・かわまちづくり計画と熊谷駅等とのつながり情報 アドバイザーよりコメント	■全体進行
14:05 (10分)	3 ワークショップ（ワールド・カフェ） 1) 本日の進め方 ★グループは事前に設定 2) テーブルの検討テーマ テーブル1 (T1)：論点2・論点3（範囲、ゾーニング・主要機能配置）、社会実験の検討 テーブル2 (T2)：論点4（活動の展開）の検討 テーブル3 (T3)：かわまちづくり計画と熊谷駅等とのつながりの検討	■全体進行
14:15 (35分)	3) ワールド・カフェ：検討① ※（テーブル・ホスト1名は残る） Aグループ（T1）、Bグループ（T2）、Cグループ（T3）	■テーブル
14:50	休憩 10分	
15:00 (35分)	4) ワールド・カフェ：検討② Aグループ（T2）、Bグループ（T3）、Cグループ（T1）	■テーブル
15:35 (35分)	5) ワールド・カフェ：検討③ Aグループ（T3）、Bグループ（T1）、Cグループ（T2）	
16:10 (15分)	6) テーブル確認・発表 Aグループ（T1）、Bグループ（T2）、Cグループ（T3） ・各テーブル・確認 5分 ・各テーブル・ホスト発表（3テーブル） 10分	■全体進行
16:25 16:30	4 チェック・アウト ・アドバイザーのコメント&ファシリテーターのコメント ・連絡事項、挨拶、閉会	■全体進行

（配布資料）

- ・プログラム（第2回）、WS参加者のみなさんへ
- ・資料1 第1回ワークショップ・ニュースレター
- ・資料2 情報共有 かわまちづくり協議会の検討状況（論点1～4、社会実験）
- ・資料3 かわまちづくり計画と熊谷駅等とのつながり情報
- ・資料4 今後のスケジュール
- ・別紙 関係者ヒアリング、協議会、ワークショップ意見まとめ

（別冊資料）※第1回ワークショップでの配布資料持参

- ・情報共有1の資料：かわまちづくりの概要、熊谷市アンケート結果
- ・情報共有2の資料：熊谷市「かわまちづくり」への意見、事前ヒアリングの結果

WS（ワークショップ）参加者のみなさんへ

●WSの2つの目的

1. かわまちづくりへ、アイデアや意見を出そう
2. かわまちづくりで、仲間をつくろう

●WSでの2つのお願い

1. 積極的に、自分の意見を述べよう
2. 積極的に、他の参加者の意見を聞こう

●WSのルール（多くの人が集まる場）

- ・ルール1：意見の存在は認める ＝ 否定はしない

（背景）多様な見方、多様な環境：意見の違い → 正常な状態

- ・ルール2：ワークショップは、個人資格での参加とします

（参考）合意形成とは

多様な価値の存在を認めながら、人々の立場の根底に潜む価値を掘り起こして、その情報を共有し、お互いに納得できる解決策を見いだしていくプロセスのこと

※合意形成マネジメント協会（代表：哲学者・桑子敏雄氏、熊谷高校出身）

第1回ワークショップ開催(案)

熊谷市荒川かわまちづくり計画を検討しています！

7月6日(土)14 時より荒川公民館にて、第1回熊谷市荒川かわまちづくり計画ワークショップを開催しました。

市民の方々25名の方に参加頂き、かわまちづくり計画に関する意見交換を行いました。

幅広い年齢層の参加者が、かわまちづくり計画の骨格となる基本方針や計画範囲、具体的な活用のアイデアに関し、意見を出し合い、計画づくりの第一歩を踏み出しました。

より豊かな荒川河川敷の活用のアイデアを検討中！



ワークショップ開催概要

| 日時：7月6日(土) 14時～16時45分 | 会場：熊谷市荒川公民館

| 主催：熊谷市 建設部河川課

| 協力：ワークショップアドバイザー(田中規夫、埼玉大学)

ファシリテーター(澤田俊明、徳島大学)、 いであ(株)

▼詳細はこちら

QR

| 検討テーマ：①地域意見(アンケート・ヒアリング)を確認しよう、
②かわまちづくりの方針に意見を出そう、③活動・活用のアイデアを検討しよう

熊谷市荒川かわまちづくり計画とは

『かわまちづくり』とは、河川空間とまち空間が融合した、良好な空間形成を目指す取り組みです。

熊谷市荒川かわまちづくりでは、「地域との共創」、「地域の安全安心への寄与」を基本方針に掲げ、下記の配慮や充実により、地域の魅力、愛着と誇りを育むかわまちづくりを目指します。

- 荒川の豊かな自然環境の保全と継承に配慮
- スポーツや健康づくり、自然との触れ合いを通じた新たな交流が生まれることによる地域の活性化
- 熊谷らしさやつながりが感じられる空間創出と、地域の方々の日常利用の充実



様々な魅力を活かしたかわまちづくりを進めていきます

熊谷市荒川かわまちづくり計画の検討の流れ

計画の策定に向け、協議会への地域意見の提供を目的として、本年7月に熊谷市荒川かわまちづくり計画ワークショップを立ち上げました。

論点1：方針
論点2：範囲
論点3：ゾーン・主要機能配置
論点4：活動・活用のアイデア

頂いた意見は裏面に掲載しています



【熊谷市荒川かわまちづくり協議会】

第1回 5月28日開催

第2回 8月8日開催

第3回 11月下旬開催予定

第4回 3月下旬開催予定

【ワークショップ】

【第1回WS】7月6日(土)開催
・論点1、2、4の検討

【第2回WS】8月31日(土)開催
・論点2、3、4の検討
・かわと駅のつながりの検討
・社会実験企画の検討

10月上旬
社会実験等実施

【第3回WS】11月中旬開催予定
・社会実験のふりかえり
・論点4の検討
・かわまち申請書(案) 検討

※WS:ワークショップ



(裏面に続く)

かわまちづくりの方針や範囲、活動アイデアについて、意見を出し合いました！

論点1 (方針)

【緑】賛同、【ピンク】懸念、【黄】その他
(20意見) (8意見) (2意見)

共通	●基本方針には賛成です ●賛成 水辺の公園希望 ●賛成、自然環境を一番にしてほしい ●開発ありきは危険、残すべきは手を加えない方がよい ●開発の方向性が心配
基本方針1 地域と共創	整備方針1-1 熊谷らしさ、つながり ●多様な世代、人が住みやすいまちになることに期待 ●多目的に多世代が活用、多世代が交流できる空間の創出に期待 ●川で遊べる方針が良い、子供達が川遊びできる環境整備、親水整備をしてほしい ●熊谷らしさ、つながりを河川敷内に求めることは困難と感じる
	整備方針1-2 地域振興・健康づくり ●高齢者や障害のある方も気軽に利用できる環境への配慮 ●地域振興、健康づくりに賛成、スポーツ目的の利用者が多いため ●駅⇄体育館⇄かわまち、周辺まちづくり計画との一体的な計画にしてほしい ●文化的な利用（コンサート利用）も配慮されたい ●賑わう事による周辺の住環境悪化への懸念 ●南口は狭い地区なので、必要以上のことは不要 ●ランニングコースやサイクリングコースの安全対策等
	整備方針1-3 自然環境・風景 ●自然を活かす、環境を充実させるという方針に賛成
基本方針2 安全・安心	整備方針2-1 安全・安心 整備方針2-2 水害・災害学習 ●浸水リスク低減のため堤防の強化をしてほしい ●洪水時の災害リスクを減らし、防災力を向上させる ●堤防整備により構造が変わるかもしれない ●今かわまち整備を行ったら手戻りにならないか ●地球温暖化対策について詳しく知りたい

様々なご意見を頂きました
一部をご紹介します

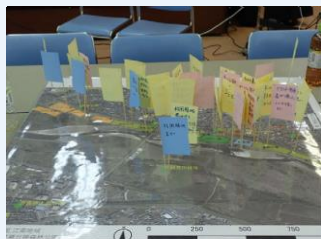


論点2 (範囲)、論点4 (活用アイデア)

【青】範囲、【黄】活用アイデア、【ピンク】範囲、活用アイデアの懸念

A 班

【青】 4意見、【黄】 27意見、【ピンク】 9意見



- 範囲は対岸まで広げ、活用したらどうか
- 坂路のアクセスが悪く、形状をV字からI字に変更した方がよい
- 駐車出来る道路の拡幅、駐車場の整備、ルール作りをして欲しい
- 木陰で休憩できる場所を作してほしい
- 熊谷駅南口の計画と一体感のある計画として欲しい
- 命を守るシェルターや360°展望できる場を整備して欲しい
- 堤防の盛土は川側に前出しして、桜並木を残して欲しい

B 班

【青】 4意見、【黄】 12意見、【ピンク】 3意見



- 上下流(大麻生～久下)や南北(駅前～対岸)に整備範囲を広げてはどうか
- 川の中の利用(手こぎボート等)を考えてほしい
- 高水敷はスポーツ以外の利用もできるようにして賑わいを創出してほしい
- アクセス環境を良くしてほしい
- 子供達のために、将来良かったと思える計画にしてほしい
- 住環境にも配慮してほしい(騒がしいと困る)

C 班

【青】 0意見、【黄】 11意見、【ピンク】 6意見



- 魚が住める河川にしてほしい
- 川と触れ合う遊歩道など、川沿いに親水空間がほしい
- 子供や子育て世代が遊べる親水広場、バーベキュー場がほしい
- 大学の研究との連携、他プロジェクトとの連携が必要
- 災害時のオープンスペース機能を維持する必要がある
- 駐車場の整備や運用の工夫、坂路を広げてほしい(危ない)
- 周辺の住環境には十分に配慮してほしい

ご参加ありがとうございました

【お問い合わせ】

■主催 熊谷市建設部河川課 (担当: 瓜田・溝口)

TEL: 048-524-1111 (内線355) FAX: 048-525-8878

〒360-8601 埼玉県熊谷市宮町二丁目47番地1



第2回かわまちづくりワークショップ 情報共有

令和6年8月

熊谷市荒川かわまちづくり事務局

1) 検討プロセス

➤ 検討プロセス

論点1：方針
論点2：範囲
論点3：ゾーン・主要機能配置
論点4：活動

現地視察
・地域の魅力探し
・地域課題の共有

5月28日

第1回協議会
・組織の設置
・情報の共有（背景、地域ニーズ、かわまちづくり、論点案）
●論点1、2 検討①
・今後の進め方について

8月8日

第2回協議会
●論点1、2 審議
・論点3、4 検討①
・社会実験 検討①

11月下旬

第3回協議会
●論点3 審議
●論点4 検討②、審議
・かわまち申請案 検討①

R7.3月下旬

第4回協議会
●論点1～4 決定
●かわまち申請案 決定

【地域意見の確認の場】

7月6日

第1回ワークショップ
●論点1、2、4 検討

8月31日

第2回ワークショップ
・論点1 確認
●論点2、3 検討
●論点4 検討
●社会実験 検討（計画）
●かわまちづくり計画と熊谷駅とのつながり等

10月上旬

社会実験等実施

11月中旬

第3回ワークショップ
●論点4 検討
●社会実験 検討（評価）
●かわまち申請案 検討

パブリックコメント等の実施

1) かわまちづくりの方針(案)

論点1

➤ 地域課題

… 追加項目(参考:別紙1)

・課題1:熊谷らしさ(地域の魅力)の充実、情報発信、まちへの愛着の醸成

地域資源を活かす(水辺の魅力、観光資源、自然環境、歴史文化)

・課題2:都市拠点の魅力・活力の充実による定住促進、多様な人の交流拡大

熊谷駅南口周辺には駐車場等の低未利用地が多く点在。

人口減少の更なる深刻化の抑制に向け、都市拠点としての必要な魅力(活力・教育・文化)、利便性(ユニバーサルデザイン)を備え、健康に暮らせるまちの環境整備の充実が必要。

周辺のまちづくり計画と連携を図ることが必要。

・課題3:荒川の豊かな自然環境の保全と継承

地球温暖化対策(「ゼロカーボンシティくまがや」の宣言への対応、暑さ対策)

荒川の自然環境の保全・創出・継承、自然環境保全の担い手確保

子どもたちが安全に荒川の自然環境と触れ合える空間の充実が必要

・課題4:かわ・まち・駅空間の一体的な安全・安心まちづくり(ハード・ソフト)

浸水リスク(浸水深0.85m 家屋倒壊等氾濫区域(想定最大規模))への対応。

気候変動の深刻化、高齢化や単身世帯の増加、地域コミュニティの希薄化に対応し、想定を超える災害への備えの充実、流域治水の取組推進、自助や共助の意識向上が必要。

2

1) かわまちづくりの方針(案)

論点1

➤ 熊谷市荒川かわまちづくりの目標・方針

地域と共創、地域の安全安心への寄与のもと、荒川の豊かな自然環境の保全と継承に配慮し、スポーツや健康づくり、自然との触れ合いを通じた新たな交流が生まれることによる地域の活性化、熊谷らしさやつながりが感じられる空間創出と、地域の方々の日常利用の充実により、まちへの愛着の醸成、定住促進を目指します。

➤ 熊谷市荒川かわまちづくり方針

… 追加項目(参考:別紙1)

対応方針

基本方針1 地域と共創 地域との共創により、地域の魅力、愛着と誇りを育むかわまちづくりを目指します。 ※課題1、2、3対応	整備方針1-1 熊谷らしさ、つながり ・熊谷らしさ(水辺やまちの魅力、観光資源、自然環境、歴史文化)を活かし、地域の魅力を充実する空間づくりを目指します。 ・子どもから大人まで多様な世代の人との出会いと交流を育む憩いの空間の創出を目指します。
	整備方針1-2 地域振興・健康づくり ・荒川の自然の中で、誰もが自由にスポーツ(する・みる・ささえる)や健康づくりを楽しむ空間の創出を目指します。 ・周辺まちづくり計画との連携やまちとのつながりを重視します。
	整備方針1-3 自然環境・風景 ・荒川と山並みによって創り出す美しい風景を守るとともに、生物多様性の保全や温室効果ガスの吸収等に寄与する都市空間における貴重な緑地・水辺空間である荒川の豊かな自然環境を保全・創出・継承します。 ・未来を担う子どもたちが荒川の自然環境と触れ合える空間を充実し、自然環境を守り育てる担い手づくりを目指します。
基本方針2 安全・安心 地域の安全・安心に寄与します。 ※課題4対応	整備方針2-1 安全・安心 ・堤防整備(嵩上げ・拡幅・側帯盛土)により、洪水時の災害リスクを減らし地域の防災力を高めます。
	整備方針2-2 水害・災害学習 ・過去の水害の歴史、災害リスクを学習し、災害を自分事化し、地域の防災・減災対策を地域と行政が一体となって考え、取り組むことを目指します。

3

1) かわまちづくりの範囲(案)

論点2

➤ 計画対象エリア (前案)

- ・ 図中a～gは関係者ヒアリングで対象範囲に関する意見のあった場所を示しています。
- ・ 関係者へのヒアリングによる地域ニーズや実現性を踏まえ、コアエリアと将来活用エリアを設定しました。

A-2	計画範囲	・ 環案（荒川大橋～グラウンド）がやりやすい範囲と考える	a
		・ 対岸（右岸）エリアを含めて整備する計画としてほしい	b
		・ 熊谷駅南口エリアのまちづくりとの連携が必要（荒川公園、新体育館、図書館、文化会館等）	c
		・ 駅からかわまちまでの歩行者動線が重要	c
		・ かわまち、南口エリア、北口エリアの一体化（歩行者動線）する視点が重要	d
		・ 富士山の見える久下橋の方までつながった遊歩道、東屋、トイレ、水道等の休憩施設があると良い	e
		・ 荒川大橋から久下橋までの区間を舟下り等できたりすると良い	f
		・ 河川敷地内から万平公園までを含む範囲へ拡大してほしい。歩行者動線が整備されていると利用しやすい	g

(参考資料「ヒアリング結果」かわまちづくりの意見)

コアエリア

複数の意見区分が重なるエリアで、当事業の核として位置付けるエリア

将来連携エリア

複数の意見を包括した範囲で、当事業の効果が様々なかたちで期待できるエリア



4

1) かわまちづくりの範囲(案)

論点2

➤ 計画対象エリア (案)

… 追加項目(参考：別紙2)

- ・ 図中a～gは関係者ヒアリングで対象範囲に関する意見のあった場所を示しています。
- ・ 関係者へのヒアリングや協議会、ワークショップによる地域ニーズや実現性を踏まえ、コアエリアと将来連携エリアを設定しました。

計画対象エリア

複数の意見区分が重なるエリアで、登録後5年間の実現を見込む計画として、荒川緑地と駅南口エリアのまちを含むエリア
※熊谷駅南口再整備計画の計画対象エリアは未定のため想定範囲を記載

A-2	計画範囲	・ 環案（荒川大橋～グラウンド）がやりやすい範囲と考える	a
		・ 対岸（右岸）エリアを含めて整備する計画としてほしい	b
		・ 熊谷駅南口エリアのまちづくりとの連携が必要（荒川公園、新体育館、図書館、文化会館等）	c
		・ 駅からかわまちまでの歩行者動線が重要	c
		・ かわまち、南口エリア、北口エリアの一体化（歩行者動線）する視点が重要	d
		・ 富士山の見える久下橋の方までつながった遊歩道、東屋、トイレ、水道等の休憩施設があると良い	e
		・ 荒川大橋から久下橋までの区間を舟下り等できたりすると良い	f
		・ 河川敷地内から万平公園までを含む範囲へ拡大してほしい。歩行者動線が整備されていると利用しやすい	g

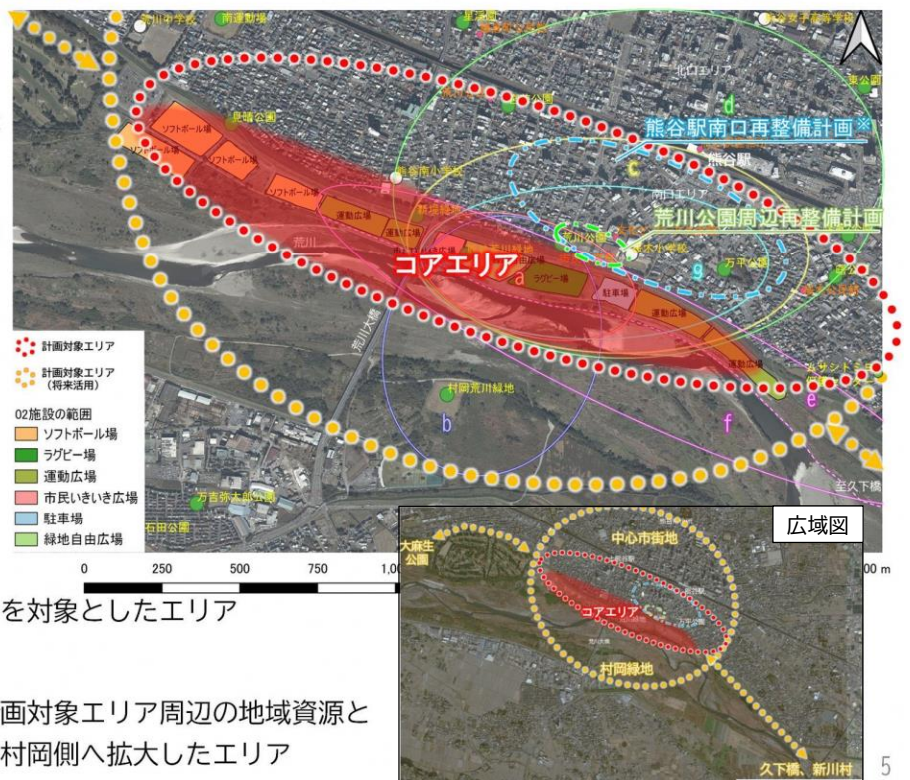
(参考資料「ヒアリング結果」かわまちづくりの意見)

コアエリア

計画対象エリアのうち、主に河川敷地内を対象としたエリア

計画対象エリア (将来活用)

複数の意見を包括した範囲で、将来的に計画対象エリア周辺の地域資源と連携しながら駅北口の中心市街地や対岸の村岡側へ拡大したエリア



5

2) ゾーン設定と主要機能配置(事務局案)

論点3

➤ ゾーニングと機能設定

基本方針	整備方針	ゾーン設定と各ゾーンの主要機能
基本方針1 地域と共創 地域との共創により、地域の魅力、愛着と誇りを育むかわまちづくりを目指します。	整備方針1-1 熊谷らしさ、つながり ・熊谷らしさ（水辺やまちの魅力、観光資源、自然環境、歴史文化）を活かし、地域の魅力を充実する空間づくりを目指します。 ・子どもから大人まで多様な世代の人との出会いと交流を育む憩いの空間の創出を目指します。	■スポーツ健康文化交流ゾーン スポーツ健康利用ゾーン ・荒川の自然や水辺の涼を身近に感じながら、誰もが自由にスポーツ（する・みる・ささえる）や健康づくりを楽しむ機能を充実します。 ・地域交流や防災イベント等の多様なイベント開催を支援する機能を充実します。
	整備方針1-2 地域振興・健康づくり ・荒川の自然の中で、誰もが自由にスポーツ（する・みる・ささえる）や健康づくりを楽しむ空間の創出を目指します。 ・周辺まちづくり計画との連携やまちとのつながりを重視します。	■水辺の憩いゾーン ・水辺を眺め、安らぎや涼を感じられる水辺の憩いの機能を充実します。 ・安全性や環境配慮に留意したアウトドアや健康づくりイベントなどを楽しむ親水機能を充実します。
	整備方針1-3 自然環境・風景 ・荒川と山並みによって創り出す美しい風景を守るとともに、生物多様性の保全や温室効果ガスの吸収等に寄与する都市空間において、貴重な緑地・水辺空間である荒川の豊かな自然環境を保全・創出・継承します。 ・未来を担う子供たちが荒川の自然環境と触れ合える空間を充実し、自然環境を守り育てる担い手づくりを目指します。	■自然環境保全・環境学習ゾーン ・荒川の豊かな自然環境・風景を守り、生物多様性を高める機能（多自然川づくり・在来野草による自然環境）を充実します。 ・水辺の楽校など、子供たち等の地域の人々が荒川を環境学習の場として活用する機能（安全な浅瀬・アクセス等）を充実します。
基本方針2 安全・安心 地域の安全・安心に寄与します。	整備方針2-1 安全・安心 ・堤防整備（嵩上げ・拡幅・側帯盛土）により、洪水時の災害リスクを減らし地域の防災力を高めます。	■歴史文化体験ゾーン ・荒川とまちに関わる歴史文化の魅力の情報発信や往時に想いを馳せる空間・体験機会等を充実します。 （荒川の治水遺産（荒川西遷、旧熊谷堤）、舟運と中山道の歴史、浮世絵に描かれている中山道中の御酒屋の賑わい等）
	整備方針2-2 水害・災害学習 ・過去の水害の歴史、災害リスクを学習し、災害を自分事化し、地域の防災・減災対策を地域と行政が一体となって考え、取り組むことを目指します。	

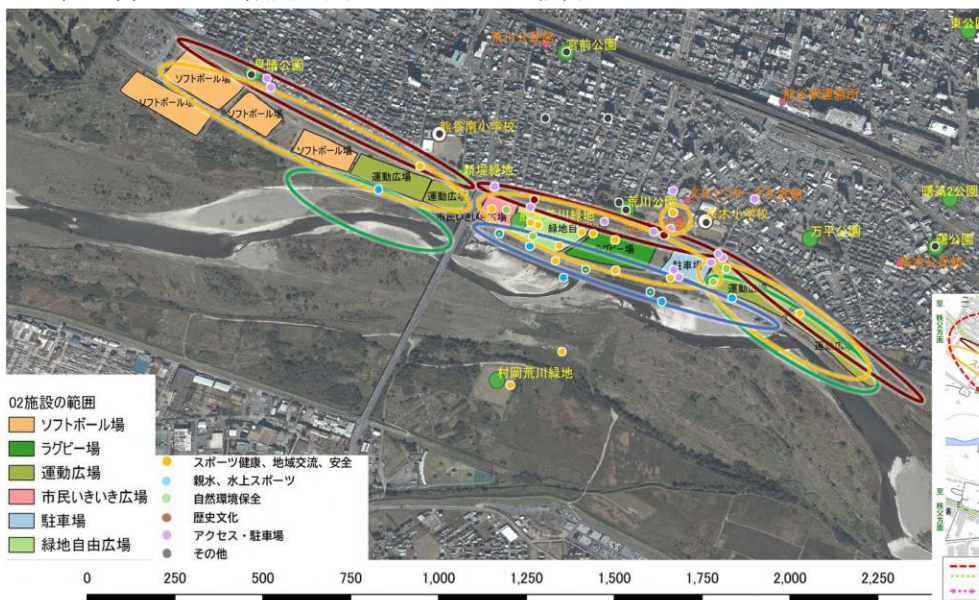
2) ゾーン設定と主要機能配置(事務局案)

論点3

➤ ゾーニングと機能設定

(参考：別紙3)

- 各ゾーンの配置は、現地の魅力（荒川緑地の施設、荒川の自然資源）、ワークショップ意見（下図の●表示箇所）を踏まえ設定しました。
- 自然環境保全・環境学習ゾーンは、荒川特有の自然環境の魅力（れき河原の浅瀬や淵（ワンド））のある荒川大橋の上流付近に位置付けました。
- 熊谷桜堤のエリアを基本に設定しています。計画対象エリア周辺の歴史資源（熊谷桜堤や旧熊谷堤、舟運、渡し、中山道）を活かし、熊谷らしさや、まちとかわのつながりを充実するエリアとして、今後、市民意見を踏まえながら、まち側を含めゾーン設定を広げていくことを検討します。



- スポーツ健康文化交流ゾーン
- 水辺の憩いゾーン
- 自然環境保全・環境学習ゾーン
- 歴史文化体験ゾーン



堤防・河川空間利活用の方向性：スポーツ健康文化交流ゾーン 論点4

■スポーツ健康文化交流ゾーン・スポーツ健康利用ゾーン

- ・誰もが自由に訪れることができ、荒川緑地のスポーツ利用、堤防道路の散歩やサイクリングロード、荒川で繋がる上下流の地域との連携、新市民体育館の取組みと連携し、荒川の自然や水辺の涼を感じながらスポーツや健康づくりを楽しむ、市内外の多様な世代の人との出会いと賑わい、交流を育む憩いの空間の創出を目指します（熊谷駅南口のまちづくりと連携し都市拠点の魅力・活力・利便性の充実）。
- ・「かわ」と「まち」の連携（歩行者や自転車動線の充実、イベント連携）により、かわまちエリアや新市民体育館で生まれる新たな賑わいを周辺のまちに繋げていくことを目指します。

役割	取組内容	場所	必要な整備・施設（案）	… 次年度以降検討
➢ 地域の安全安心に寄与する	・堤防整備 ・消防救急の緊急時用のヘリポート機能の充実 ・荒川緑地（広域避難場所）の機能充実	堤防	・堤防の嵩上げ、拡幅 ・ヘリポートに必要なオープンスペースを確保する。 ・堤防坂路の整備（緊急車両のアクセス坂路・バリアフリースロープの確保）	
➢ 地域防災力を高める地域活動を支援する空間	・地域の防災活動を行うための環境整備など（防災訓練、防災教育（災害リスクや過去の洪水、治水の歴史、流域治水に関する情報発信））	自由広場等	・防災活用に必要なオープンスペースの確保 ・防災情報（災害リスク、過去の洪水、治水の歴史、流域治水等）を発信する案内看板や洪水水位標等の設置	
		堤内地	・防災倉庫（新市民体育館内）	
➢ 荒川の自然・風景を楽しみながら気軽に健康づくりやスポーツを楽しむ空間（散歩、ランニング、サイクリング、地域スポーツ）	・堤防道路の利用を充実する環境整備 ・水辺、山並みの風景、桜堤の景観保全と魅力の充実 ・花火大会や桜祭りの大規模イベントの安全な利用、魅力を高める環境整備	堤防	・堤防道路の散歩等を楽しむ休憩所（堤防の側帯を活用した眺望・ベンチ・東屋又は緑陰、サイクルラックの整備）、案内・誘導サイン（距離表示、ルート図）、街灯（夜間、早朝の安全対策） ・堤防坂路の整備（バリアフリーのスロープの確保）（再掲） ・歩行者と自転車の安全対策（拡幅（幅員確保）、分離標示、ルール・マナーの周知活動、交通安全教室） ・大規模イベント時の安全な利用に配慮した階段や堤防の拡幅・観覧席を兼ねる階段式護岸の整備 ・新市民体育館へのアプローチの整備	
➢ スポーツ観戦やイベント開催による地域交流・賑わいの空間		堤内地	・休憩拠点・情報発信拠点・管理棟（広場、キッチンカー設置スペースやカフェ（堤防と新市民体育館と連携）の整備）	
➢ 市内外の多様な人との出会いと交流を育む憩いの空間	・高水敷の利用を充実する環境整備（アクセス、休憩や駐車施設、スポーツやイベント観覧施設の充実） ・スポーツイベントの開催（サイクルイベント・ノルディックウォーキングイベント、マラソン大会等） ・手ぶらで運動やアウトドアを楽しむサービスの充実 ・民間占用による公園機能の充実拡大	自由広場 グラウンド等	・堤防坂路の整備（バリアフリースロープの確保） ・トイレやベンチ（緑陰、東屋）、サイクルラック、駐車場の整備	
		いきいき広場	・木陰を活かした公園機能を充実する公共サービスの提供（チェア、ハンモック、ターフ・運動具等の貸出サービス）、飲食を提供するキッチンカーの誘致と必要設備の整備とスペースの確保 ・公園機能を充実する民間占用の誘致（例、パーベキュー場、ドッグラン）	
	・「駅」と「かわ」、「かわ」と「まち」の移動を安全、快適、楽しむアクセス環境の整備	周辺道路	・自動車、自転車、歩行者の動線計画 ・自動車交通量の増加や駐車需要の増加に対応した周辺道路の交通環境の整備（道路・駐車場） ・熊谷駅南口から新市民体育館前を通り、荒川にアクセスする歩行者動線の整備（人中心のウォーカブルな空間整備、シェアモビリティ、楽しむ移動）	

堤防・河川空間利活用の方向性：スポーツ健康文化交流ゾーン 論点4

地域の安全・安心に寄与する



【水防訓練の実施（熊谷市荒川緑地）】



【防災について学ぶイベント開催】



【緊急ヘリポート（荒川）】

アクセスを安全・快適・便利に



【バリアフリーのスロープの整備（多摩川）】



【歩行者・自転車の安全対策（歩車道分離表示（千曲川））】

大規模イベント・スポーツ観戦時の安全対策の充実



【熊谷花火大会の利用状況（2023年）】



【花火大会観覧やスポーツ観戦の安全な利用に配慮した階段式護岸の整備（聖蹟桜が丘かわまちづくり（多摩川））】



【駐車需要増加に対応した駐車場・坂路の整備（相模川）】



【新市民体育館へのアプローチ（千代田地区かわまちづくり（芦田川））】

健康づくりを楽しむ（散歩・サイクリング）



【堤防道路の利用の充実（堤防側帯を活用した遊歩道と東屋）】



【誰もが快適・安心して利用できるトイレの整備】

地域のスポーツ活動・スポーツイベントを便利に



【熊谷さくらマラソン大会】



【地域のスポーツチームの練習・予選・大会・】

眺望・景観を楽しむ



【堤防道路の魅力（秩父の山々を望む風景、桜堤の景観）】

イベントやスポーツを観る・健康づくりを楽しむ 【スポーツイベントの開催（ラグビー教室）】



堤防・河川空間利活用の方向性：水辺の憩いゾーン

論点4

■水辺の憩いゾーン

- ・誰もが訪れることができ、水辺を眺め、安らぎや涼を感じられる憩いの空間とするとともに、安全性や環境配慮に留意したアウトドアや健康づくりイベントなどを楽しめる空間とします。

役割	取組内容	場所	必要な整備・施設（案） … 次年度以降検討
➢ 地域防災力を高める地域活動を支援する空間	・地域の防災活動を行うための環境整備など（防災訓練、防災教育（災害リスクや過去の洪水、治水の歴史、流域治水に関する情報発信）、川の安全体験教室）	水辺 低水護岸	・水辺への安全なアプローチの整備（階段式護岸・スロープ等）
➢ 荒川の水辺を眺め・やすらぎや涼を感じられる憩いの空間	・水辺の眺望や夏場の涼を楽しむ水際の環境整備 ・水辺のアウトドア（釣り・SUP等）の環境の整備（アクセス等）	水辺 低水護岸	・治水、環境、安全性に配慮した親水護岸や水辺の散策路の整備
➢ 安全性や環境配慮に留意したアウトドアや健康づくりを楽しむ空間	・水辺の涼を感じながら楽しむイベント等の開催（ウォーキングイベント・SUPのリバーレース等）		



【水辺に親しむ親水護岸と水辺の芝生（多摩川）】



【水辺の散策路の整備（大和川）】



【水辺のウォーキングイベントの開催】

10

堤防・河川空間利活用の方向性：自然環境保全・環境学習ゾーン 論点4

■自然環境保全・環境学習ゾーン

- ・身近な自然の保全・生物多様性を高める空間とします。
- ・隣接する小学校と連携し、水辺の楽校など荒川を環境学習の場として活用することにより、未来を担う子どもたちが身近に自然と触れ合う機会を充実し、将来の環境を守り育てる担い手づくりを目指す空間とします。
- 荒川を自然回廊とする豊かな自然環境の保全と継承
- コアジサシ等の生息場となる荒川中流域固有の礫河原の自然生息環境の保全

役割	取組内容	場所	必要な整備・施設（案） … 次年度以降検討
➢ 身近な自然の保全・生物多様性を高める空間	・荒川中流域の自然環境の特性を踏まえた、生物多様性を高める空間整備、維持管理活動の充実	水辺 堤防・未利用な草地	・多自然川づくり（護岸の覆土、かご工、捨石など） ・在来野草（オミナエシ等）の充実を目指す植生管理と環境学習利用の充実（学校連携、市民参加）
➢ 地域の自然環境学習を充実する空間	・自然環境の保全に配慮し、子供たちが安心して自然と触れ合える水辺空間の整備	水辺	・現況の浅瀬やワンドへのアプローチの整備
➢ 将来の環境を守り育てる担い手づくり	・自然学習イベントの開催（生き物調査、水質調査等） ・地域の環境保全活動の開催（荒川の清掃等）		・自然環境の保全に配慮した必要最小限度の踏み分け程度の水辺への散策路



【環境学習（生き物の調査・水質調べ等）水辺の楽校（阿武隈川）】



【多自然護岸（覆土・かご工・捨石など）】



【必要最小限度の踏み分け道程度の散策路（多摩川）】



【野鳥観察】



【荒川の清掃イベント開催（くまかんれん ウェブサイトより）】



【流域の市民活動による清掃活動（菅生川を美しくする会）】



【近隣学校の校外学習利用（植物・昆虫採取・観察）】

11

■歴史体験ゾーン

- ・地域との共創により、周辺の地域資源を活かし、熊谷らしさ（水辺やまちの魅力、荒川と熊谷のまちとの関わりの歴史文化）や、人とのつながりを大切にする空間づくりにより、熊谷市への愛着と誇りを育むことを目指します。
- ・過去の水害の歴史、災害リスクを学習し、災害を自分事化し、地域の防災・減災対策を地域と行政が一体となって考え、取り組むことを目指します。
 - 荒川の洪水から熊谷のまちを守ってきた治水遺産（西遷、旧熊谷堤）
 - まちの発展を支えてきた荒川の舟運と中山道の歴史
 - 浮世絵に描かれている中山道中の御狩屋の賑わい（休憩、来訪者との交流）

役割	取組内容	場所	必要な整備・施設（案） … 次年度以降検討
➢ 熊谷らしさや人とのつながりを大切にする空間づくりにより、熊谷市への愛着と誇りを育む空間	・計画地周辺の中山道等の歴史文化の見どころを繋ぎ、「かわ」と「まち」を繋ぐ回遊ルートの整備 ・SNSを用いた「かわ」と「まち」をつなぐ情報発信 ・歴史体験イベントの開催 例. 村岡の渡しや久下の渡し地域の原風景に思いを馳せるイベントや、旧中山道沿いの史跡をめぐるスタンプラリーイベントの開催	堤内地（熊谷駅周辺）	・旧熊谷堤や中山道の歴史を活かした、「かわ」と「まち」を繋ぐ動線計画 ・旧熊谷堤や中山道の歴史を活かした、「かわ」と「まち」を繋ぐ動線整備（バリアフリー・見どころ） ・歴史文化の見どころを繋ぐ回遊ルート、フットパスの整備 ・回遊ルートの位置、周辺の見どころを解説する案内看板、フットサインの整備（桜堤、旧熊谷堤など） ・浮世絵に描かれる住時のみかりやの賑わいや、荒川の現風景に想いを馳せる新たな休憩拠点の整備（新市民体育館との連携）
➢ 過去の水害の歴史や、治水遺産を学び、災害を自分事化する空間	・治水の歴史を学習・体験するイベントの開催（荒川の西遷、旧熊谷堤・石祠（水運の安全祈願）） ・流域治水（上下流の自治体連携）を学習・体験するイベントの開催	自由広場等のオープンスペース	・過去の水害の歴史や、治水遺産を解説する案内看板の設置等



【歴史資源を活かしたかわとまちを繋ぐ回遊動線計画、案内看板（桜堤、旧熊谷堤など）】

(参考：別紙4)



论点4

- 階段式護岸
階段工



4) 社会実験企画 目的

➤ 社会実験の目的 ハード・ソフト施策(案)を場所と期間を限定して試してみる

(今年度の目的)

目的1：かわまちづくり計画への期待や、施策（案）のニーズの確認

かわまちづくりへの期待、ニーズの確認、ハード・ソフト施策（案）の満足度の確認
多様な関係者・利用者間の相互理解の醸成やかわまちづくり計画への合意形成

目的2：ハード・ソフト施策の実施上の問題点や課題の確認

検討段階では気づかなかった問題点や課題の確認、解決策の見出し

目的3：社会実験イベント→荒川の河川空間の魅力、かわまちづくりの取組の情報発信

荒川の多様な魅力（広いオープンスペース、水辺の自然環境、眺望・風景）の情報発信

(参考 今年度の結果を踏まえ、次年度以降の取組)

目的4：利活用主体（プレイヤー）の発掘、コミュニティづくり

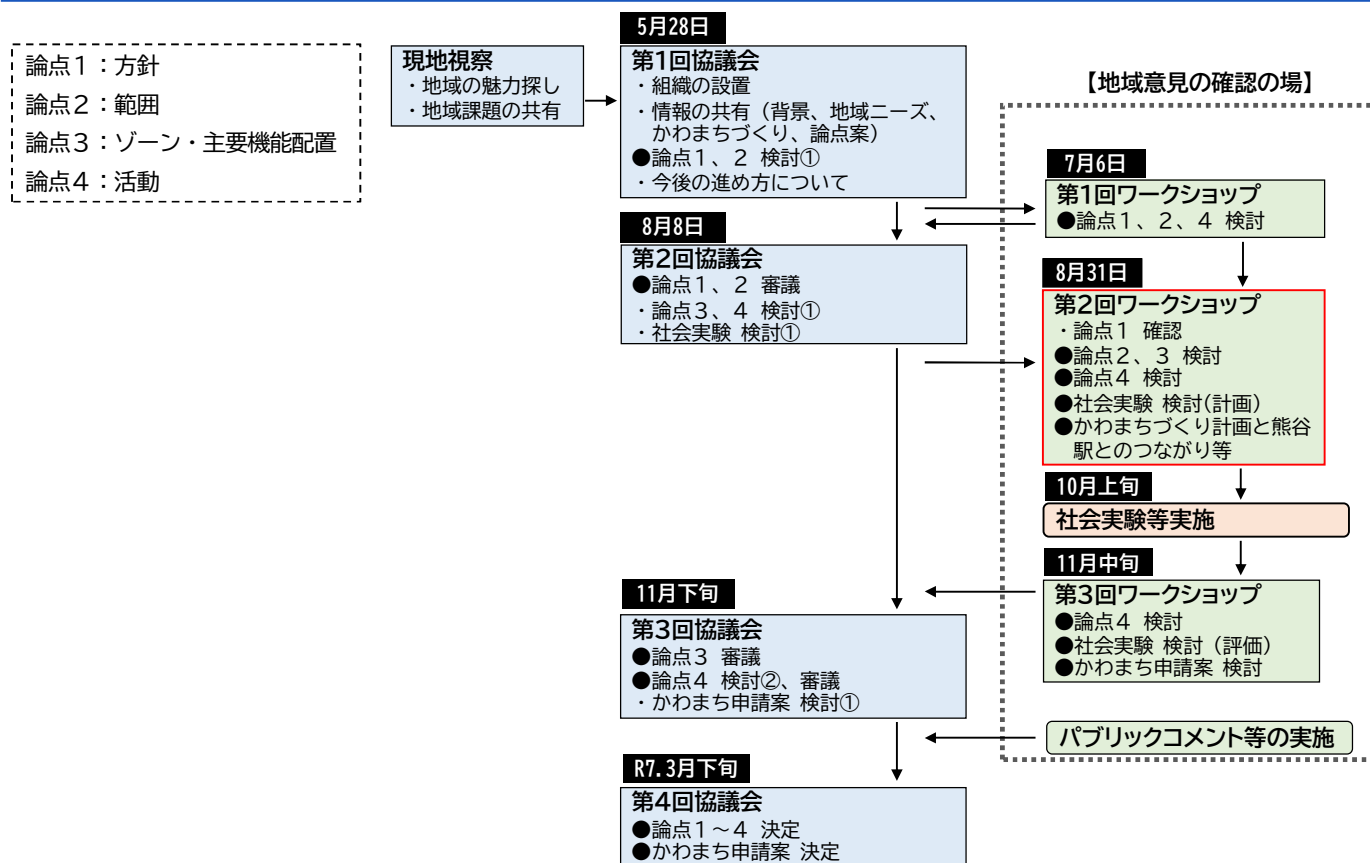
コミュニティ形成のきっかけとして、将来の河川の利活用を実践するプレイヤーの交流機会をつくることによる地域の活動体制づくりを支援します。

不定期な利活用イベントの開催→定期的な利活用→利活用の定着

15

4) 社会実験企画 実施時期

➤ 社会実験の実施時期



16

4) 社会実験企画 取組メニュー(事務局案)(全体)

➤ 社会実験の取組内容と調査項目(事務局案) (実施時期 令和6年10月上旬 土曜日又は日曜日(予定))

ゾーン区分	実施メニュー(案) (今後変更の可能性あります)	堤防 道路	自由 広場	いきい き広場	ラグ ビー場	水辺	対象	調査項目案
スポーツ健康文化交流ゾーン	1.ハード施策:休憩スペースの試行(ベンチ・テーブル・ターフ(日影)を設置)	○	○				・誰でも	・利用状況調査 ・アンケート調査
	2.ソフト施策:多世代交流、スポーツや健康づくりを楽しむイベント試行(タグラグビー教室、市民体育館や自治会の健康づくりイベント連携)			○	○		・スポーツイベント内容による(事前募集)	・参加人数 ・アンケート調査
	3.ソフト施策:子育てや交流を楽しむイベントの試行(手ぶらでスポーツ・健康づくり、手ぶらでピクニックを支援する運動遊具、イス、シート等の貸し出し)		○	○			・誰でも	・利用状況調査 ・アンケート調査
自然環境保全・環境学習ゾーン	4.荒川の自然の魅力・恵を学ぶ・楽しむ 体験イベントの試行 “自然体験学習会 荒川の水辺の生き物を見つけよう!”					○ 荒川大橋上流の水辺	・親子(小学3年生以上と保護者(事前募集))	・参加人数 ・アンケート調査

■得られる結果のイメージ

- ①社会実験への感想
- ②試行したハード・ソフト施策(案)に対する意見(満足度・課題)
- ③かわまちづくり計画(案)に対する意見
- ④利活用やアクティビティ、河川管理(維持管理)や自然環境保全活動への参加意向
- ⑤利用者の属性、現状の利用頻度等

17

4) 社会実験企画 取組メニュー(事務局案)(ゾーン別)

➤ 社会実験メニュー(事務局案) スポーツ健康文化交流ゾーン (今後変更の可能性あります)

1. 休憩スペースの試行

堤防上や自由広場に休憩スペースを作ってみる



休憩スペース(堤防道路)



休憩スペース(自由広場)

2. 多世代交流、スポーツや健康づくりを楽しむ



【スポーツイベントの開催】
(タグラグビー教室)



【市民体育館や自治会の健康づくりイベントとの連携】



※自由広場へのバリアフリーアクセスを確保
(簡易段差処理)



3. 子育てや交流を楽しむ



【手ぶらで楽しむピクニック、手ぶらで楽しむスポーツ】
・スポーツ遊具等の貸し出し
(大なわ、ボール、タグラグビーボール、パタンク、モルック、ピクニックシート、イスなど)
※誰でも、多世代交流を考慮

18

4) 社会実験企画 取組メニュー(事務局案)(ゾーン別)

➤ 社会実験メニュー(事務局案) 自然環境保全・環境学習ゾーン

4. 荒川の自然の魅力・恵を学ぶ・楽しむ 体験イベントの試行

“自然体験学習会 荒川の水辺の生き物を見つけよう!”

●対象：小学生(3年生以上)と保護者

●目的：

荒川河川敷での生き物採集(主に魚と底生動物)を通して、生息魚種の種類や生息環境、重要種や外来種の生態特性を学習し、生物多様性の重要性を認識してもらう。

また、荒川における多自然川づくりやこのような自然体験学習が、荒川に生息する生物の生息環境を回復軌道に乗せる(ネイチャーポジティブ)ための大切な取り組みであることを意識させる。

(荒川の自然を育む応援隊(担い手)の育成)



コアジサシ、チュウサギを目視確認
ヒバリの鳴声を確認



19

4) 社会実験企画 取組メニュー(事務局案)(ゾーン別)

➤ 社会実験メニュー(事務局案) 自然環境保全・環境学習ゾーン

2024 熊谷市荒川かわまちづくり社会実験
あらかわ し ぜん かん さ つ か い
荒川自然観察会
10/6 (日) ※雨天の場合は10/26(土)に延期します。
午前の部：10:00～12:00
午後の部：13:00～15:00

★ 集合場所
水生生物観察場

熊谷小学校
荒川大橋

～持ち物～
・マリンシューズ、濡さしたくつ、かかとをついたサンダルなど
・水筒、ぼうし
・タオル、暑がえ(必要な人のみ)
・観察ラッキー(生き物の持ち帰りたい人のみ)
※「おもあみ」は貸し出しします、自分のおもあみを持ってきてほしい人どうぞ。

水辺の生きものをつかまえて水質調査をします。
「生物多様性」について学びましょう
おとなの人と一緒に来てね。

～保護者の皆様へ～
■会場内外でのゴミ物の管理やケガについては、自己責任にてお願い致します。
■ゴミは各自でお持ち帰りください。
■気象状況によりイベント内容は変更になる場合があります。
■川に入る人数は安全上、定員数を設けています。
■会場ではスタッフが写真の撮影を行います。これらの撮影物は伊予チラシ等に使用・掲載させていただくことがございますので、予めご了承ください。

問合せ：熊谷市河川課：000-000-0000 / いであ株式会社：000-000-0000

20

2024. 8. 31時点の企画案であり
今後変更の可能性があります

熊谷市荒川かわまちづくりの参考として
アンケートを実施予定です。
ご協力をよろしくお願いします！

10/ 
(日)

熊谷市荒川かわまちづくり

社会実験

会場 / 荒川河川敷（入場無料）

時間 / 00：00～00：00 ※雨天中止

「かわまちづくり」とは

地域が持つ「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、地域活性化や観光振興などを目的に、市町村や民間事業者、地域住民等と河川管理者が各々の取り組みを連携することにより「河川空間」と「まち空間」が融合した良好な空間形成し、河川空間を活かして地域の賑わい創出を目指す取り組みです。

- 会場内外での手荷物の管理やケガについては、自己責任にてお願い致します。
- ゴミは各自でお持ち帰りください。
- 気象状況によりイベント内容は変更になる場合があります。
- 会場ではスタッフが写真の撮影を行います。これらの撮影物はHPやチラシ等に使用・掲載させていただくことがございますので、予めご了承願います。

■ 催しにより開催時間は異なります。
■ QRコードから最新情報をご確認ください。

■ 状況により一部変更または
中止の可能性があります。

QR

手ぶらでピクニック

自然の中でくつろごう！

誰でも自由に使えるアウトドアチェアやハンモックを設置します。開放的な水辺空間でくつろいでみませんか？

場所：ピクニックひろば



手ぶらであそぼう

荒川河川敷でいろいろな遊びを体験しよう！

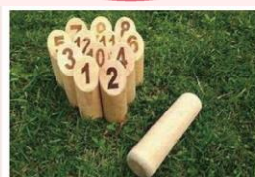
モルックや風船バレーボールなどのインクルーシブな遊びや、トランポリン、大縄などが無料で楽しめます。

場所：あそびのひろば



『貸出備品』

- モルック
- 風船バレーボール
- タグラグビー用ボール
- 大縄



水辺の生きもののコーナー

荒川の水辺の生き物と触れ合おう！

川にはどんな生きものがいるのかな？ 荒川河川敷に生息する生き物の展示や桜木小学校の児童が行う水質調査の結果をご覧ください。

場所：いきものひろば

● 午前 00:00 ~ 00:00

桜木小学校との
コラボ企画



タグラグビー教室

タグラグビーを体験してみよう！

タグラグビーとは、タックルをタグと呼ばれる腰に巻く紐を取る事に置き換えた、こどもから大人まで楽しむことができるスポーツです。

対象：小学生（3年生以上）と保護者

場所：スポーツ・けんこうひろば

● 午前 00:00 ~ 00:00

埼玉県フットボール協会との
コラボ企画



休憩スペースもたくさんあるよ！

市職員手作りの堤防上の
休憩スペース



■ 開催日：2024年10月 日（日）

■ 会場：熊谷市荒川河川敷

■ 主催：熊谷市建設部河川課

■ お問い合わせ

熊谷市建設部河川課（担当：瓜田・溝口）

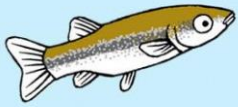
TEL:048-524-1111 FAX:048-524-8878

埼玉県熊谷市宮町2丁目 47 番地 1

2024 熊谷市荒川かわまちづくり社会実験

あらかわ しぜんかんさつかい

荒川自然観察会



10/6 (日) ※雨天の場合は10/26(土)に延期します。

午前の部：10：00～12：00

午後の部：13：00～15：00



～持ち物～

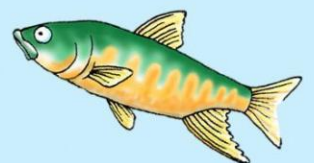
- ・マリンシューズ、履き古したくつ、かかとをついたサンダルなど
- ・水筒、ぼうし
- ・タオル、着がえ(必要な人のみ)
- ・観察フラケース(生きものを持ち帰りたい人のみ)

※「たもあみ」は貸し出します。自分のたもあみを持てきたい人はどうぞ。

みず べ すいしつちようさ
水辺の生きものをつかまえて水質調査をします。
せいぶつ た よう せい
「生物多様性」について学びましょう
いっしょ
おとなの人と一緒に来てね。

～保護者の皆様へ～

- 会場内外での手荷物の管理やケガについては、自己責任にてお願い致します。
- ゴミは各自でお持ち帰りください。
- 気象状況によりイベント内容は変更になる場合があります。
- 川に入る人数は安全上、定員数を設けています。
- 会場ではスタッフが写真の撮影を行います。これらの撮影物はHPやチラシ等に使用・掲載させていただくことがございますので、予めご了承願います。

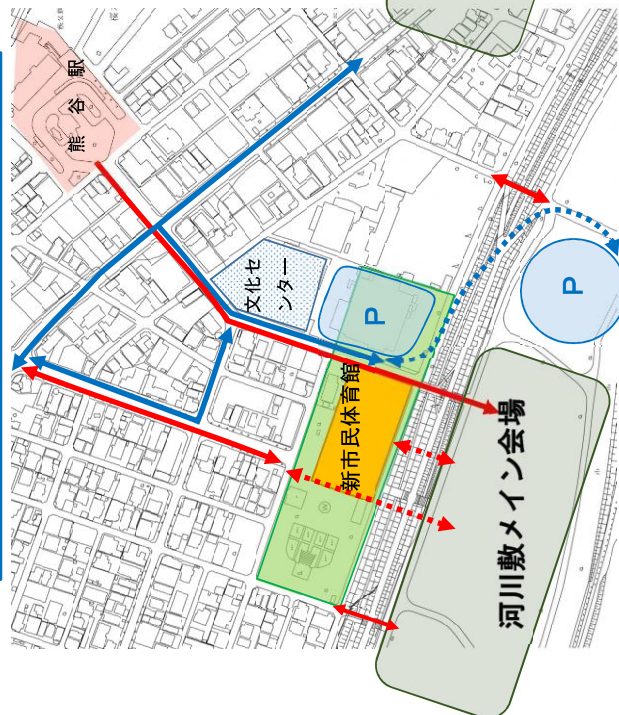


問合せ：熊谷市河川課：000-000-0000 / いであ株式会社：000-000-0000

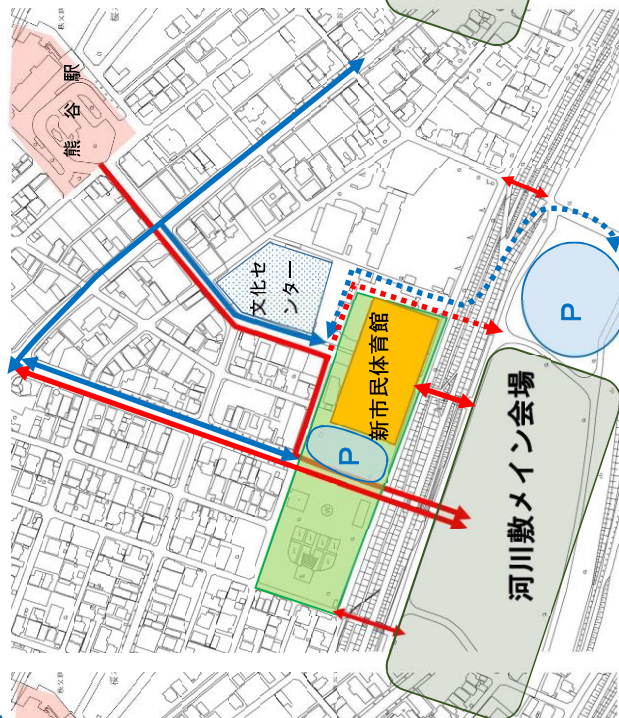
○河川敷メイン会場への階段、斜路の位置を決めるため駅方面からのアクセスを検討しています。ご意見ください

駐車場へのアクセス（車の流れ）（階段の位置（人の流れ））

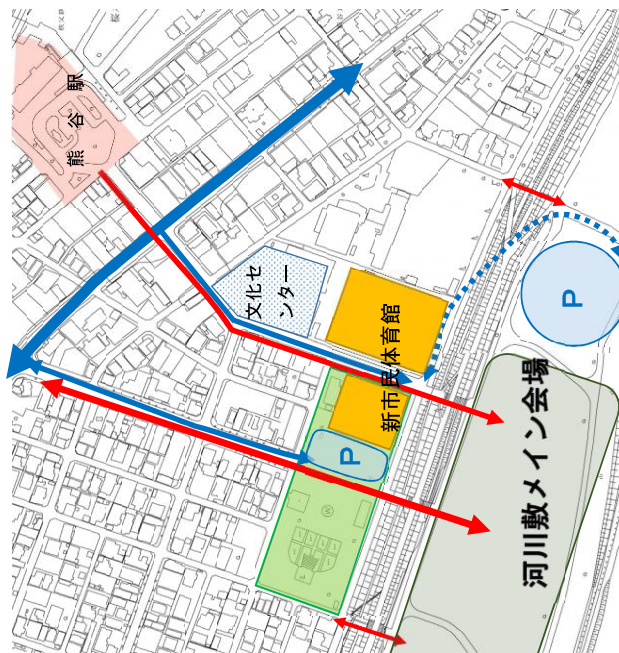
A案 体育館を公園内中央に配置



B案 体育館を公園内東に配置



C案 体育館の建替え
西にサブアリーナ



今後のスケジュール

時期	開催名	検討内容
7月6日(土)	第1回 ワークショップ	● 論点1 (かわまちづくりの方針) ● 論点2、4 (計画範囲、活動・活用のアイデア)
8月31日(土) (本日)	第2回 ワークショップ	● 論点2、4 (計画範囲、活動・活用のアイデア) ● 論点3 (ゾーン設定と主要機能配置) ● 社会実験でやること ● かわまちづくり計画と熊谷駅とのつながり等
11月中旬予定	第3回 ワークショップ	● 社会実験のふりかえり ● 論点4 (活動、活動の継続方法) ● かわまちづくり計画申請書(案)について